

インターカルチャーアートは、栃木県宇都宮市にある名門ゴルフクラブ・サンヒルズカントリークラブの改修工事に伴う、アートワーク、サインの業務を担当しました。今回のニュースレターではクラブハウス、客室のアート、サイン例をご紹介します。



Artworks For Golf and Resort

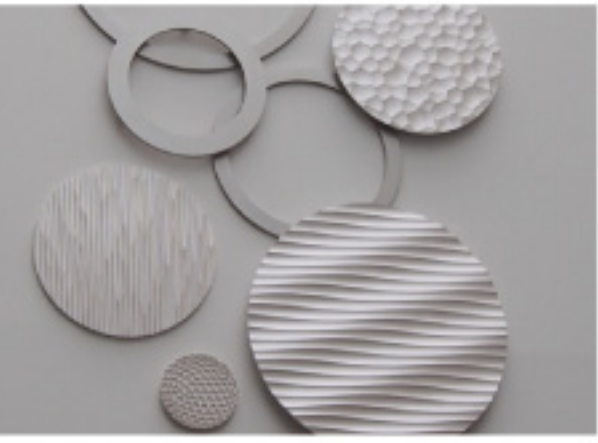
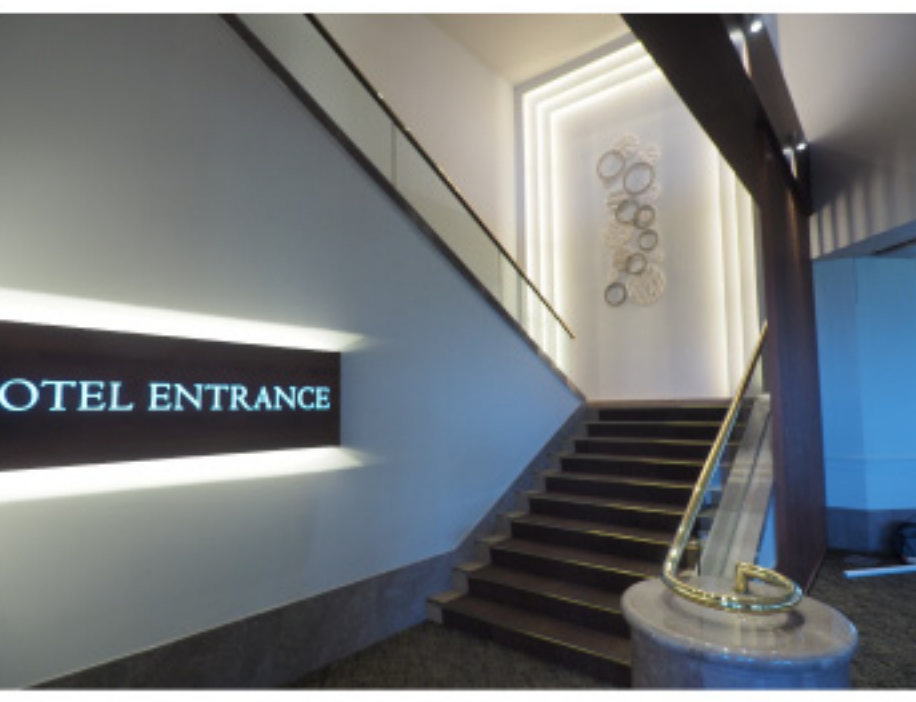
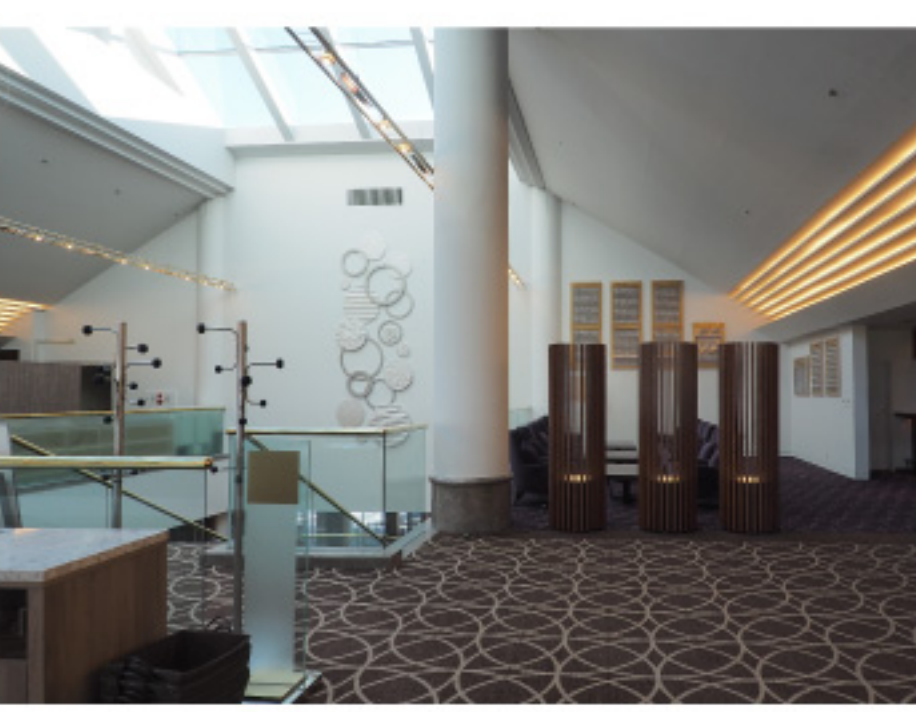
サンヒルズ カントリー クラブ

2017年4月

伝統あるゴルフクラブの改修にあたり、クラブハウスと宿泊施設のアート装飾を担当しました。クラブハウスのパブリックスペースにはゴルフボールを象徴するような円形オブジェのアート製作。客室内にはグラフィカルでモダンなアートを設置し、新しい時代のゴルフ場にふさわしい装飾を演出しました。また館内のサインも担当。アートを含めて、統一されたインテリア空間となるようデザインを行いました。



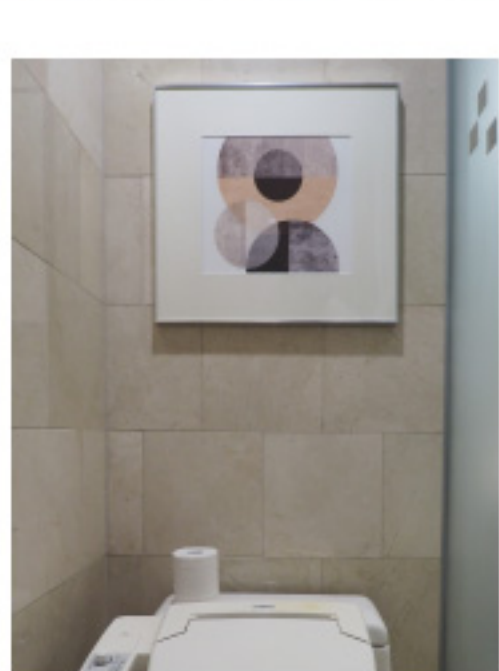
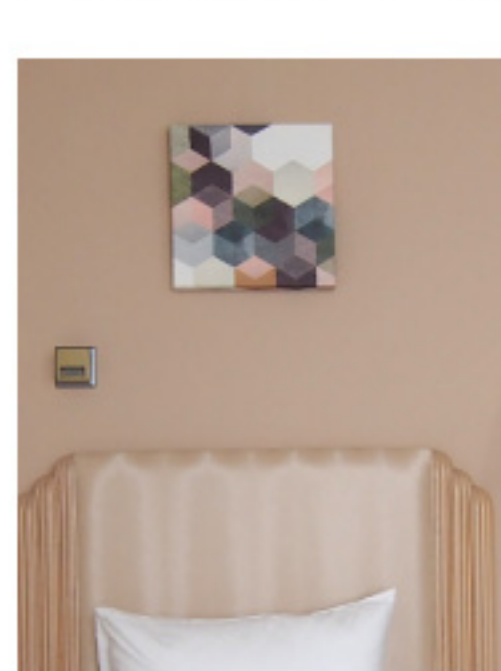
クラブハウスを象徴する吹き抜けアート。ゴルフボールを象徴的にデザインしました。18個のサークルは各ホールの大きさに表しています。



その他のパブリックスペースもゴルフボールを象徴する円形のアートを中心に展開しました。

Artworks For Guest Rooms

宿泊施設の客室には各部屋のカラーに合わせたモダンなアートを設置しました。



客室アートはグラフィカルでありながら、ゴルフ場のホールやボールの軌跡を象徴するようなパターンを選んで製作しました。

Signage for Public Space

アートともに館内のサインの製作も担当しました。機能的でありながら、生まれ変わるクラブハウスのイメージを高められるようなグレードの高いものとする心をかきました。アートと同時に全体を構成することにより、館内を統一した空間としてデザインすることができました。

